

HAMAYOU

芦屋町ボランティア活動センター通信 134号

発行日 2021年5月1日

発行者
芦屋町ボランティア
活動センター「リード」
発行所
遠賀郡芦屋町中ノ浜11-6
町民会館2階
TEL 093-221-1011

災害支援ボランティア活動報告

4月11日に、日本九援隊のボランティア活動に参加しました。大牟田市の「橘香園(きつこうえん)」で石垣の復旧作業を行いました。

「橘香園」は、石垣で作られた段々畑を利用したキャンプ場です。熊本地震と豪雨の被害を受けていました。

9時、JR大野城駅前に集合し、検温と消毒が行われました。この日は参加



者が少なかつたので、数台のレンタカーに分かれて、現地に向かいました。普段は九援隊のボランティアバスを利用します。10時20分、橘香園に到着しました。



参加者は21人で、

2班に分かれて作業を行います。スコップなどを準備して現場に向かいました。



10時30分、作業開始。まずはみんなで手順を相談しました。崩れたままになっている石垣の

石を移動し、土を掘り出す作業を行いました。20分作業して、10分程度休憩をとるといいう流れで進めました。

12時から1時間の昼食休憩後、13時から午後の作業が始まりました。石垣の石を積む作業に苦戦し、担当箇所を完成できないまま、この日の作業を終了しました。

後片付けを終えて、14時30分現地を出発し、15時30分にJR大野城駅に到着し、解散しました。

九援隊は、日曜日や休日に、福岡県内や近県各地の被災地で、災害復旧の作業ボランティアを行っている団体です。毎回作業場所や内容をSNSで発信して、参加者を募っています。ボランティア活動参加者は、20人程度の時もあれば、100人を超える時もあるそうです。

作業現場は、ユンボなどの重機で作業できない、果樹園や住宅地の側溝などが多く、土砂の掘り出しが主です。スコップなどで掘り出す重作業のほかに、斜面の草取りや廃棄物の運搬などの比較的軽い作業もあります。みんなで相談・分担し、自分のできる作業を行います。



今回は、天気がよく、風も吹いていたので、それほど汗をかかずに作業ができました。土は乾いていたので掘りやすかったのですが、大きな石が多く斜面から転がる危険もあって大変でした。

みんなで相談しながら行う、共同作業は楽しいです。
(廣田)

